

令和6年度 施設管理者からのニーズ一覧表

ニーズ番号	土木分野	ニーズ分類	対象とするニーズ	条件等
24_1_1	道路	新技術の導入	路面性状調査における点検業務	実際に損傷、劣化している箇所と、工事による舗装復旧箇所との判別を、AI技術を使用することにより効率的に判断できる方法を知りたい。 排水管、配水管の埋設箇所は、帯状に舗装復旧しており、振動などで損傷と判断される場合があるため、AI技術で判別できれば調査効率が向上すると考えます。
24_1_2	道路	新技術の導入	橋梁の下部工水中部における点検方法について	これまで2巡目の橋梁点検を終えたところであるが、下部工水中部の点検については、「水深が深い」、「河幅が広い」、「潮の干満の影響を受ける」といった、直接目視での点検が困難な箇所が存在する。 については、新技術を活用して、これらの問題が解決できかつ安全で安価に実施できる方法を知りたい。
24_1_3	道路	新技術の導入	橋梁点検方法について	新技術を活用して、橋梁点検を効率よく経済的に行う方法を知りたい 本市において管理する橋梁数が非常に多く、莫大な点検費用が必要となるため、小規模な橋梁約7割程度については、職員自らで点検を実施している。従来方法に比べて、経済的かつ効率的に点検を行える新技術があれば知りたい。
24_1_4	道路	新技術の導入	橋梁の点検における新技術の活用について	道路メンテナンス事業において、橋梁点検業務を実施しており、今年度で3巡目になっております。橋梁数も650橋以上の橋梁を点検する必要がある、国から新技術の活用しコスト縮減効果についての数値目標を求められております。 そのため、どのような新技術を活用することで、コスト縮減が図られるのか知りたい。
24_1_5	道路	新技術の導入	市道の舗装の点検や調査方法について	市道の延長が長く、路面調査に費用がかかっているため、新技術（AI、デジタル技術等）を活用して、路面性状調査を効率よく行う方法を知りたい。
24_1_6	道路	新技術の導入	新技術の活用について	市町村が管理するような小規模施設に活用できる新技術を知りたい。 補修設計委託業務等で、受託業者に新技術の活用を検討してもらっているが、小規模な施設に活用できる技術を探すのに苦慮していた。
24_1_7	道路	新技術の導入	新技術の活用について	点検における近接目視相当の新技術を知りたい。 国道から移管されたアーチカルバートで、河床が岩で平滑ではなく、簡易移動式足場の使用が出来ず、点検のたびに足場を組まなくてはいけない施設があり、点検の見積りを取ると、1施設に1回当りで約700万円かかるとのことだった。 足場の設置が不要で、ドローンのような機械で近接目視相当の点検ができる新技術がないか知りたい。
24_1_8	道路	組織・体制の強化、人材育成	市道に係る認定区域、舗装構造や工事履歴等の情報一元化の手法	現在、本市では財産管理、機能管理、日常管理と道路管理者が複数の部署に分かれている。そのため、情報が点在しており、検索に多くの時間を要している。 そこで、担当職員が閲覧できるよう各種情報を一元化するとともに、AIやICT技術の活用により収集できるメンテナンスデータ等を連携することができるプラットフォーム構築の手法を知りたい。 さらに、道路だけではなく、水路や河川等に拡充していくことで、総合的な整備計画等に利用可能な手法があれば知りたい。
24_1_9	河川	新技術の導入	通年実施している河川堤防の草刈・伐木や河床整理に係る維持管理（インフラメンテナンス）について、新技術導入等による予算縮減・維持管理の効率化	河川堤防の草刈・伐木や河床整理などの河川維持管理に係る新技術で、従来工法より経済的であり、受・発注者の労力削減が図れる方法を知りたい。人件費や材料費等の高騰により、限られた予算のなかで、今後の維持管理水準の低下が危惧される。このことから、維持管理費用の縮減に資する新技術の活用を検討したい。
24_1_10	港湾	その他	港湾施設・海岸保全施設の点検手法について	新技術を活用して、港湾施設・海岸保全施設を簡易・安価かつ効率的に行う方法をしりたい。 港湾施設・海岸保全施設の維持管理は、施設保有数が膨大である一方、技術職員数の減、施設の経年劣化による業務量の増および維持管理費の増により、点検にかかる業務量及びコストを削減することが課題である。 課題解決のための方法として、新技術を活用した点検が考えられるが、技術的な問題やコスト面の関係から、なかなか導入するまでには至らず、従来の点検方法を採用するケースが多い。このことから、取扱いが簡易であり、コストが安価、かつ効率的に点検を行うことのできる新技術があれば知りたいと考えている。
24_1_11	下水	その他	下水道圧送管の調査及び点検について	一部のマンホールポンプには平面位置しかわからない圧送管があり、縦断（深さ方向）が不明な箇所があり点検箇所の選定に苦慮している。 圧送管の埋設高さの調査について、効率的かつ安価な調査方法を知りたい。また調査後に点検が必要となった圧送管についても効率的かつ安価な点検・診断方法が知りたい。
24_1_12	営繕	その他	公営住宅の水回りの点検について	公営住宅の水回りの効率的かつ安価な点検・診断方法を知りたい ※水回りに関しては予防保全の対策を講じることが難しいため、不具合が起こってから修繕する、という対応になっている。特に、配送管にあたっては、地下や構造物等に埋設されているものもあるため、不具合の原因の特定に時間を要している。